

終業式でのAL型校長講話の写真です。

前号（第106号）で、9月30日（金）の前期終業式のAL型校長講話で使用したスライドを掲載しました。今号では、松井先生が撮ってくれた写真を時系列で掲載します。私は、昨年8月より東京でのALセミナーによく行くようになり、プレゼンテーション技術も学びました。特に、（株）アクティブラーニングの羽根拓也社長に影響を受け、マイクを2本持ち（インタビュー用の1本はスポン後ろのポケット）、歩き回りながら話す「羽根流プレゼン」を目指しています。なお、スライド操作は、最近購入した指輪型の「コクヨ パワポ操作用 フィンガープレゼンター 黒曜石 ELA-FP1」を使っています。また、途中ペアワークとグループワークを入れましたが、ワークの終了は、「古新方式」（こにいほうしき）を使いました。これは、友人で映画監督の古新舜さんが考案したもので、「講師が右手を上げたら、右手を挙げて口チャック」です。960名の生徒が、一瞬に静かになるこの方式は、「マジック」です。前から後へ次々に手が上がっていく光景は、何度見ても感動します。100人以上の前で話す方は、ぜひトライしてみてください！

